

これだけはやっておきたい！

入学前に保護者の皆様にお伝えしたいネットトラブル対策

①利用状況の確認

子どもたちが、スマホ・インターネットで何をどの程度使用しているのか、保護者の方も子どもたち自身もある程度把握しておく必要があります。利用状況を確認することで、使いすぎに気づき、行動の見直しにも繋がりますので、定期的に確認する機会を設けることをおすすめします。

利用時間確認方法

・ iPhone

「設定」から「スクリーンタイム」の項目に進むと、よく使うアプリと、各アプリの利用時間が確認できます。

・ Android

下記のようなアプリをインストールすることで、使用アプリの種類と利用時間が確認できるようになります。

Screen Time

<https://play.google.com/store/apps/details?id=master.app.screentime&hl=ja>

②ルール作り

スマホ・インターネットの利用時間や利用場所、禁止事項などのルールを作り、そのルールに則って、端末やアプリの環境を設定・制限することが、ネットトラブルやネット依存症を回避する手段になります。ルール作りには、「ルールそのものの効果」だけでなく、「ルールを作る過程での理解促進」の2つのメリットがありますので、親が一方的にルールを決めるのではなく、子どもにも考えてもらいながら、親子で一緒に作る事が重要です。

参考サイト

・ 母から子へ「スマホ18の約束」【英語原文つき】

<https://matome.naver.jp/odai/2135781071852189901>

・ 元ヤフー執行役員・村上臣がお子さんに渡した「誓約書兼スマートフォン貸与契約書」がガチだった

<http://thefilament.jp/dialog/1557/>

③フィルタリング・機能制限

子どもたちがネットトラブルに巻き込まれないようにするには、当事者である子どもたち自身の意識も必要ですが、保護者が環境を整えてあげることも大切です。

平成30年2月1日に「青少年が安全に安心してインターネットを利用できる環境の整備等に関する法律」が改正され、18歳未満の青少年がスマートフォンや携帯電話の契約・機種変更をする際、店頭などでフィルタリングの設定が義務化されるようになりました。

また、2019年4月から、LINEも主にAndroid端末で使用されているあんしんフィルターの制限対象に含まれるようになりました。（高校生以下の設定の場合）各携帯会社からフィルタリングサービスが提供されていますので、今一度子どものスマホの設定の見直しを試してみましょう。

Androidの場合

- ・ソフトバンク あんしんフィルター for SoftBank

<http://www.softbank.jp/mobile/service/filtering/anshin-filter/>

- ・NTTドコモ あんしんフィルター for docomo

https://www.nttdocomo.co.jp/service/anshin_filter/

- ・au あんしんフィルター for au

<https://www.au.com/mobile/service/smartphone/safety/anshin-access/>

iPhoneの場合

- ・機能制限（ペアレンタルコントロール）

「設定」から「スクリーンタイム」を選択すると以下の制限をすることが可能になります。

- 1 コンテンツとプライバシーの制限を設定する
- 2 iTunes StoreやApp Storeで購入できないようにする
- 3 標準付属のAppや機能の使用を認める
- 4 不適切な表現を用いたコンテンツや特定のレークのコンテンツを阻止する
- 5 Siri によるWeb 検索 を制限する
- 6 Game Centerの使用を制限する
- 7 Webコンテンツへのアクセスを制限する
- 8 プライバシー設定の変更を認める
- 9 その他の設定や機能の変更を認める

スクリーンタイムの設定方法は、Apple社のサイトをご参照ください。

<https://support.apple.com/ja-jp/HT201304>